



九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会
発行責任者 佐川愛子
✉ nara9jyonokai@gmail.com
☎ 090-9885-9756
<http://blog.goo.ne.jp/9naranet>
<http://www.nara9jyonet.com>
52号 2022年1月4日発行



九条の会奈良県ネットワークは「安倍改憲 NO! 3000万署名」を2万2千11筆集め、チラシの全戸配布、5000名を超えるニュース会員への配布、スタンディングなど工夫された運動の経験があります。7月までの短期間、皆さんの活動を発信していきます。

九条の会奈良県ネットワークへの2021年度の協力金をお願いします。

送付先：ゆうちょ銀行
記号14530 番号27006271
九条の会奈良県ネットワーク

九条の会奈良県ネットワークは「憲法学習会」を12月15日奈良県文化会館小ホールで行いました。

- *講師として渡辺治さんをお迎えしての講演。衆議院選挙直後の講演は「総選挙で何が問われ、共闘選挙はどうだったか、改憲の局面、市民の課題は？」という内容でした。
- *衆議院選挙の結果のデーターをもとに分析、講演から今回の選挙戦は、権力をおき出しにしてきた自公政権とスクラムを組んだ「市民と野党共闘」ががっぷり4つに組みぶつかり合った最初の選挙戦だったことが分かりました。暴風雨の中での選挙戦を経験した教訓から次への私達市民が歩む方向の提起が示されました。
- *「改憲を許さない」運動を草の根のように張りめぐらす九条の会の本来の役割を発揮する事が大事だと訴えられました。

の誕生と強化

- *2014年「総がかり実行委員会」結成・安保法制廃止の共闘
- *2017年「安倍9条改憲 NO! 市民アクション」に9条の会も合流
- ②「悪政阻止の共闘」から「政治を変える共闘」へ発展
- ③自公政権を倒すことを目指す共闘へ
- *全国の小選挙区単位で市民連合結成加速
- *9月8日市民連合「衆議院総選挙における野党共通政策の提言」野党4党合意
- ④9月30日立憲民主党と日本共産党との閣外協力合意。289の小選挙区で207の候補者1本化が実現。6年10カ月を経て市民と野党の共闘が政権を変えるところまできた。

3. 総選挙の結果、野党共闘の目標に照らしてどうであったか。

- ①比例で共闘野党は、自公多数をひっくり返すうねりをつくれなかった
- *比例での得票率 自公47, 0%, 立憲4党32, 88%で自公優位だった。
- 自公政治に代わり野党共闘の政権でこんな政治をするという構想を国民に訴えきれなかった。



1. 安倍・菅政権悪政の数々、岸田自民党は悪政継続・強化

- ①大企業法人税減税、新自由主義、社会保障の削減、保健所統廃合・病床数削減、非正規・雇用破壊
- ②憲法9条破壊と改憲・日米軍事同盟強化の継続・強化。トランプ政権下で中国覇権主義との戦いへ世界戦略の転換・バイデン政権は軍事同盟網の強化。安保法制強行・「敵基地攻撃能力」・南西諸島への自衛隊配備・重要土地調査規制法
- ③「官邸主導」強権政治と民主主義破壊

2. 立憲野党は総選挙で何を目標したか？政権交代による3つの悪政の阻止・転換

- ①安倍憲法破壊に対抗する「市民と野党の共闘」

* 自民の共闘攻撃の焦点であった安保・防衛問題で共闘政権の平和構想の訴えが出来なかった。

②小選挙区では大きな力を発揮した

* 共闘効果・・・奈良1区では比例4党の票を3万票上回る。207の小選挙区の内59の選挙区で勝利。新潟（4対2）佐賀（2対0）福島（3対2）東京25の選挙区で7つ勝利。東京8区で今回は石原伸晃氏比例復活もできない。神奈川13区甘利氏は今までは圧勝、野党統一で負ける。自民党が強い県でも共闘すれば勝利することが証明された。接戦はしたけど負けたところも多かった。

③自民党が野党共闘に危機感を持ち、死力を尽くして選挙戦で巻き返しを行う。2つの手段に出る。

* 共闘攻撃を行う。甘利氏「今回の選挙は政権選択の選挙ではない。共産主義の入った政権か自由と民主主義の政権か体制の選択選挙だ」と述べる。安倍元首相「安保、自衛隊で根本的に違う立憲民主党と日本共産党が共闘し日本の安全はどうなるのか、そんな野合に任せられるのか」

* 自治体首長、議員、企業、ゼネコン党員動員、小選挙区での巻き返し、最後の1週間で反撃に出る。

4. 総選挙の結果、新たな局面を迎えた改憲問題と運動の課題

①岸田自民党による安倍改憲、9条破壊政策の継承

* 異例の総裁選、論点に挙げられた、日米軍事同盟、改憲問題が語られたのは初めて。高市—安倍の力により改憲に踏み込む。

* 自民党8つの重点公約、高市政調会長が作成。第6の柱「毅然とした日本外交の展開」「国防力」の強化で日本を守る。中国を名指しする。防衛費 GDP 2%に。辺野古の基地問題。

第8の柱 日本国憲法の改正を目指す

②改憲勢力をめぐる新たな配置

* 維新の41議席、11月2日松井代表の改憲積極発言。政局に絡めて連立政権を組み内閣に入りたいとの意思表示。

* 国民民主党の共闘離脱と改憲積極論の加速—玉木代表の毎週開催発言

* 立憲民主党の変化—枝野氏辞任、山花郁夫氏、辻元清美氏落選。改憲問題で頑張ってきた人

たちが落選。

* 自民党、11月19日「憲法改正推進本部」を「憲法改正実現本部」に

5. 参院選に向け、市民の運動と「市民と野党の共闘」の強化を

* 改めて、「改憲がいかに危険か」学習を行い「改憲4項目」を市民に訴えていく。新署名をすすめる。

* 「日米軍事同盟や改憲では日本の安全は守られない」「憲法9条に基づいた平和のあり方、東アジアの平和のあり方」を市民に訴える。

* 憲法審査会を監視し、立憲野党を励ます運動を。

* 参院選で共闘の力で改憲勢力を3分の2未満に止めよう。

九条を守るには野党共闘しかない

最後に「政権共闘の時代は始まったばかり。政権共闘をめぐる攻防の時代が始まった。共闘をめぐる逆流やギクシャクは必ず起きる。新自由主義・改憲に終止符を打ち、自公政治を変えるにはどんなに大変でも共闘の道以外はない。野党共闘はたかだ6年10カ月しかたっていない。55年間、社会党と共産党、民主党と今まで一度も共闘はなかった。それが、NHK報道でも野党の国体での協議が定番としてニュースに流れている状況をつくっている。

新自由主義と改憲の政治を変えていく運動をすすめる。9条の会の本来の役割が始まる」と述べられました。

（当日講演の録音・録画をご希望の方は下記へご連絡下さい。

nara9jyonokai@gmail.com)

九条の会奈良県ネットワーク交流会

日時：2月6日（日）13時半から16時半
場所：女性センター

奈良市東向き南町6 南都銀行本店近く

電話番号 0742-27-2300

多くの皆さんの参加をお待ちします。

「改憲を許さない」運動をどう進めていくのか交流を行います。